

自主防災組織連絡会議

令和7年1月26日(日)

茂原市高師第10自主防災会



もくじ

- 1 はじめに
- 2 自助・共助の重要性
- 3 防災訓練の考え方(コンセプト)
- 4 ” 訓練の計画と進め方
- 5 ” 訓練の実施例(写真)
- 6 防災備品の充実
- 7 おわりに

過去の検証から

阪神・淡路大震災での教訓

生き埋めや閉じ込められた際の救助

(資料) [1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書]

(平成8年11月日本火災学会) より作成

| 自力で | 家族に | 友人・隣人に | 通行人に | 救助隊に | その他 |
|-------|-------|--------|------|------|------|
| 34.9% | 31.9% | 28.1% | 2.6% | 1.7% | 0.9% |

自助・共助 97.5%

公助 2.5%

自助・共助の重要性



はじめに

基本的には自治会の下にあり、町長会等と同じ位置づけ

本自主防災会は、平成30年に高師第10自治会
(約120戸)の中に設置し組織と規約を作りました。
当初から、**定期総会と防災避難訓練**等を中心に
毎年、活動を続けています。

次のコンセプトを基本としています…

○本自主防災会は、災害から命を守るには、

「自助」…正しい知識を身につけること

「共助」…人々が協力(協働)し組織力を高める

自治会長

氏 5004

任期 152年

実際にいる方

防災訓練の基本的な考え方

- ① 会員一人一人が避難行動ができる「自助」
・自力で歩いて避難できる。
- ② “”が協力して地域防災力を高める「共助」
- ③ “”が訓練の大切さを理解し準備しておけば、災害の被害を最小限におさえられる。
- ④ 防災避難訓練は、会員相互のコミュニケーションの場になる。

「遠い親戚より、近くの他人」

防災訓練の進め方

- ① 本部役員会(総務)企画・検討・・・日時
・マンネリ化に注意

6~7年続いている
参加者が減っている

- ② 避難場所(会場)の確保・・・利用予約や申請
・市指定避難所・・・長生高校、総合市民センター

- ③ 関係機関への協力要請
・防災対策課、消防署、コーディネーター茂原等

- ④ 市役所(防災対策室)へ防災訓練届出書
エドセボ、保険に自動的に
に入れる

- ⑤ 自治会の班長会議で当日の流れや行動確認

本自主防災会の計画書作成

○本部役員会での検討

- ・想定、目的、実施日時決定

- ・内容の検討・・・避難訓練＋防災訓練内容

1.5~
2時間

○茂原市防災対策課へ相談、施設の確保

- ※講師依頼 等、施設の利用申請

班長＝防災委員

○班長会議の開催(現16班)

- ・班長との共通理解を図り、承認を受ける。

- ・会員へのお知らせ・・・全戸に回覧文書配布

○防災訓練当日

受付の設置 → 避難開始 → 受付チェック

防災訓練実施 → 反省(アンケート)

→ 防災訓練の結果報告

避難訓練の届出書

防火防災訓練届出書

平成30年10月15日

茂原市長

団体名 高師第10自主防災会
 住 月茂原市高師291-19
 代表者 本 松 光 男
 電 番 0475-23-5684

| | | | |
|---------------------|--|-----|---------------------------------|
| 訓練日時 | 平成30年10月28日(日曜日)午前・後 9時00分～10時00分 | | |
| 実施場所 | 千葉県立長生高等学校 電話0475-22-3378 | | |
| 訓練種別等 | <input checked="" type="radio"/> 1. 避難訓練 <input type="radio"/> 2. 消火訓練 3. 通報訓練 4. 総合訓練 <input type="radio"/> B. その他(講 話) | | |
| 訓練参加人員 | 50名 | 連絡先 | 担当者 伊 藤 勝 人 電 話 0475-23-0326 |
| 消防職員の派遣依頼 | 有 | 0名 | |
| その他職員(防災指導員含む)の派遣依頼 | <input checked="" type="radio"/> 有 | 無 | 1名 |

| 訓練概要 | 訓練時刻 | 訓練項目 |
|------|-------|--------------------|
| | 9:00 | 避難開始(避難カード、避難時間記入) |
| | 9:10 | 避難完了(整列・人員点呼) |
| | 9:20 | 安全な避難(講話) |
| | 9:40 | 備蓄庫(説明) |
| | 10:00 | 解散 |

地域の皆様へ(お知らせ)

あなたの家族 守れますか!?

10月に入っても、千葉県の台風被害の様子が新聞やテレビ等で報道されています。本町内でも台風被害に遭われた方々には、お見舞い申し上げます。さて、日本での自然災害はいつ・どこで発生してもおかしくない現状にあります。
 そこで本年度も、高師10自治会では防災対策の一環として、下記の通りの日程で、避難訓練を実施いたします。

避難訓練の実施計画について

- 1 日時 令和〇〇年10月〇〇日(日) 午前9:00～10:30 ※訓練は1時間半程
 - 2 内容
 - ①各自の家から 9:00スタートで長生高校まで避難します
 - ②諏訪会館へ移動後、避難カードの記入・防災無線からの避難等
 - ③日常の備蓄と準備、避難生活のアドバンス内容説明 等
- ※小雨決行…大雨の場合は、直接諏訪会館へ集合します

※お願い…大切な訓練ですので、自治会に加入・未加入にかかわらず多くの皆様のご参加をお待ちしています

(注)【防災無線が聞き取れない場合は下へダイヤル】

防災無線確認ダイヤル 0120-438-119

木子の
事前協議

←家を出た時には黄色タオルを見やさいと3人に書いて下さい
 フリーカーを蒸すのも入れた

令和〇年度の避難訓練の計画 (案)

【目的】 ○高師第10自主防災会の訓練の一環として、自然災害時の避難行動や日頃の防災意識を高める。

○自治会活動を通して、地域の親睦(コミュニケーション)を図る。

※ 公助・共助・自助が叫ばれています。

【想定】 ・大規模地震発生を想定して実施する。

【内容】 ・避難訓練及び地震体験・講話 (避難情報伝達・起震車体験)

【実施日】 ・11月〇日(日) 8:30~10:30 ※小雨決行

【会場】 ・千葉県立長生高等学校(敷地内)の1か所とする。…起震車の位置確認

1 事前準備

① 役員会で本年度の防災訓練の内容検討…企画・運営

② 茂原市役所 (防災対策課) 及び長生高等学校と連絡及び調整

③ 防災訓練の資料及びお知らせ (回覧) の作成…班長会議

④ 班長会議を開催し、実施内容の検討…10月2日実施

2 当日の流れ (班長の任務…☆印)

※ 事前準備 8:00 県立長生高校の避難本部の準備 (役員)

○本部旗・椅子やテーブル・資料(各90部)準備

① 情報伝達 8:30 自治会長 ? フロック責任者 ? 各班長へ (避難連絡)

伝達内容…千葉県中部を震源とする地震が発生の為、緊急避難の連絡があります。

た。班長は直ちに班員を避難させて下さい。

② 避難行動

↓ 8:30開始～ 各班長の指示で、徒歩で長生高校へ避難誘導

☆班長は班内を回り、避難の呼びかけ及び避難困難者の確認

※ 避難時…黄色タオルを戸外へ、分電盤のスイッチを切る

③ 避難所

↓ 9:00集合 (班ごとに整列)

☆班長は整列後…会長へ人数報告 (〇〇班〇〇人避難)

Aグループ・Bグループに分かれる。(役員が指示する)

④ 体験・講話

↓ 9:10~10:10まで (茂原市防災対策課 講師) ☆資料配布

☆報告後 (整列) →起震車体験・講話 (家庭備蓄・トイレ活用等)

A…地震体験・B…講話 その後 A…講話・B…地震体験

⑤ 質疑応答

↓ 10:10~10:20

☆参加賞 (バスケット) を全員に2枚配布する。

⑥ 解散

↓ 10:30

地域の皆様へ(お知らせ)

わー 地震発生避難 しましょう

昨今の新聞やテレビ等でご承知の通り、日本における自然災害の報道が全国各地から送られています。また、県内においても震度4程度の激しい地震も発生しています。

そこで本自治会では防災対策の一環として、自治会全体で下記の通りの日程で、避難訓練を実施します。

避難訓練の実施計画について

1 日時 平成30年10月28日(日) 午前9:00~10:00 ※訓練は1時間程度

2 内容 ①各自の家から 9:00スタートで長生高校まで避難します

②避難カードの記入と人数確認 等

③安全な避難の方法や備蓄庫(長生高校内)の内容説明 等

※小雨決行…悪天候の場合は中止します

※お願い…大切な訓練ですので、自治会に加入・未加入にかかわらず多くの皆様のご参加をお待ちしています

避難訓練の様子



受付・・・避難者カード記入



班旗がある

長生高

集合・・・人員点呼



集合

起震車体験



長土 幸

パートナーズ組立て



救急法(講習)



総合市民センター

防災避難訓練の反省

良かった点

- 事故なく防災訓練を、終了することができた。
- 自治会に未加入の参加者が数名見られた。
- 集合場所では、多くの参加者同士の会話が聞かれた。

改善点

- 年々、訓練参加者が少なくなる傾向がある。
- アンケート結果から、訓練を毎年実施したい。
- 高齢者や一人暮らし等、弱者の避難方法を考えたい。

最初 80%
↓
R.6年度 50%

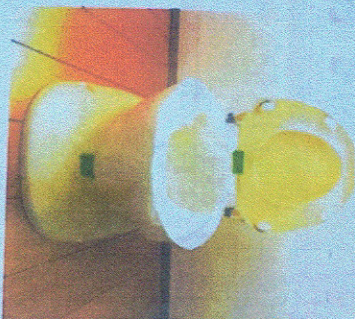
防災備品(県防災補助金交付)



家庭の洋

避難生活用のトイレ

簡易トイレは15年(使用可能)



①図
便座部を持ち上げて、大きめのビニルで便器(台座)をおおいガムテープなどで各部を貼り固定する。



②図
便座をおろして、汚物袋(黒)を便座にくるむようにし、中央部を下方に広げて固定する。
※黒袋中に小便や大便を排泄する。



③図(数回使用可)
排泄後、凝固剤を汚物袋(黒)に振りかける。
汚物袋を取り出し、口を結んで奈良市の可燃物袋(青)に入れて処理する。

RABLISS

防災士監修

緊急・災害時 非常用

簡易トイレ

水がなくても 清潔でニオイなし!

消臭・抗菌

備えて安心

15年 保存可能

男女兼用

凝固剤10g使用
しつかり吸収

セット内容
●凝固剤：10回分
●汚物袋：10枚

10 回分

※凝固剤はイメーグです。

※昨年、会員全戸に配布

1回分
¥1,100
¥84

練後防災訓練後のアンケート結果

実施日…令和5年11月29日 会場…茂原市総合市民センター 参加者数(62名)



高師第10自治会防災訓練実施後のアンケート(結果)

| 1 本年度の避難訓練(防災訓練)に参加して、よかったですか? | アンケート回答数 (49名) | |
|--------------------------------|-------------------|-----------|
| ア 大変よかったです | イ よかった | ウ 悪かった |
| 35名 | 14名 | 0名 |
| エ 改善が必要 | | |
| 0名 | | |
| 2 本年度、心肺蘇生法(AED)体験は為になったか? | | |
| ア 大変よかったです | イ よかった | ウ 悪かった |
| 32名 | 17名 | 0名 |
| エ 改善が必要 | | |
| 0名 | | |
| 3 本年度の避難時の安否確認タオ(黄色タオ)は役に立ったか? | | |
| ア 大変よかったです | イ よかった | ウ 悪かった |
| 14名 | 30名 | 0名 |
| エ 改善が必要 | | |
| 5名 | | |
| 4 自治会の、毎年の防災訓練の実施について? | | |
| ア 毎年実施する | イ ときどき実施 | ウ 特に、必要ない |
| 32名 | 17名 | 0名 |

5 自治会活動へのご意見・ご要望等の内容

- ・大変めになる訓練でした。AEDの使い方が参考になりました。…8名
- ・安否確認タオの掲示が、どれくらい実践できたか調査する必要がある。
- ・今回初めて参加したので、安否確認タオの事を知らなかった。
- ・自治会に未加入の皆さんに、参加の声掛けをしたい。
- ・久しぶりに、皆さんの顔が見られ、協力して出来たことはよかったです。
- ・時々だと忘れるので、毎年の実施がよい。
- ・2～3年に一度の実施がよい。

※アンケート結果から、令和6年度も防災避難訓練を計画する予定です。

地域の皆様へ(お知らせ)

あなたの家族 守れますか!?

10月に入っても、千葉県の台風被害の様子が新聞やテレビ等で報道されています。本町内でも台風被害に遭われた方々には、お見舞い申し上げます。さて、日本での自然災害はいつ・どこで発生してもおかしくない現状にあります。そこで本年度も、高師10自治会では防災対策の一環として、下記の日程で、避難訓練を実施いたします。

避難訓練の実施計画について

- 1 日時 令和〇〇年10月〇〇日(日)午前9:00～10:30 ※訓練は1時間半程度
 - 2 内容
 - ① 各自の家から 9:00スタートで長生高校まで避難します
 - ② 諏訪会館へ移動後、避難カードの記入・防災無線からの避難等
 - ③ 日常の備蓄と準備、避難生活のアドバイス内容説明 等
- ※小雨決行…大雨の場合は、直接諏訪会館へ集合します

※お願い…大切な訓練ですので、自治会に加入・未加入にかかわらず多くの皆様のご参加をお待ちしています

(注)【防災無線が聞き取れない場合は下へダイヤル】
防災無線確認ダイヤル 0120-438-119

おわりに

※ 更に、住民一人一人の防災意識を
高める活動を推進したい

- 「自主防災会」を立ち上げ、防災訓練を実施したらやり続ける必要がある。
- 防災訓練は、会員だけでなく地域住民にも参加を呼びかけたい。
- 高齢者等、自力で移動できない住民の避難の仕方を検討しておく必要がある。
- 毎年の防災訓練の内容が、マンネリ化しないよう執行部の研修が必要である。
- 防災関連機関との連携と、

災対コ 茂原 の研修 を受ける ため

更に、リーダー養成が重要である。

毎回の会場の
という立場の人

以上、ご清聴ありがとうございました。作